

先生たちのアクティブ・ラーニング

4月21日（火）

4月の人事異動で若い先生が更に増え、4月中頃からオンラインの授業やラインの活用など、様々なツールを使った授業について模索してくれています。先生たちのパワーは凄いですね。「校長先生、こんなのはどうでしょうか？」と次々にアイデアを持ってきてくれます。若い先生たちも「やらされている仕事」でないので、沢山のアイデアが出てくるし、2人、3人の先生かスマホを片手に議論している様子を見ていると、まさにこれからの時代に求められている学習そのもののような気がします。どの先生もコロナ対応でストレスがあると思いますが、ICTを活用した教育について議論している姿は生き生きとしています。

新型コロナウイルスへの対応に追われる毎日ですが、これを機に教育が大きく変わると思われます。

先日は、不登校担当者の研修会がズーム（オンライン）を使って行われました。4月下旬には、ソフトテニスの顧問会がズームで行われることもあり、半数以上の先生が、セッティングから会議の様子を見守りながら研修をしました。他の先生にも見えるように、電子黒板も活用しました。このシステムが双方向型のオンライン授業となるわけです。



昨日は、出勤している先生が、ズームを使ったオンライン授業を在宅勤務の先生たちとやりとりしながら設定してくれました。在宅勤務の先生も交え、ミニ会議を行ってみました。スマホを使っての試験的な会議、授業は大成功でした。4月はじめに行った家庭でのネット環境の調査でも、ネット環境はほとんどの家庭で整っているため、このシステムを活用して、授業が行えたらと思っています。また、本校が利用しているラインネットでも、出欠の欄を使って健康観察が行えるので、まずはこれから始めようと思い、昨日試験的に保護者に配信しました。

